

# 六地藏について

普門寺参道の入口右手には、六体のお地藏様がいらっしやいます。所謂、「六地藏さま」です。入り口に六地藏さまがいらっしやるお寺は少なくありません。ではこの六地藏さまとはどのようなお仏さまなのか。

日本においてお地藏さまは、阿弥陀さまと並んで最も有名なお仏さまと言っても過言ではないでしょう。その呼称は様々で、「延命地藏」「將軍地藏」などから、その靈驗から「とげぬき地藏」「田植之地蔵」「夜泣き地藏」といった呼称まで枚挙に暇がありません。それは裏を返せば、それだけ靈驗あらたかであり、人々に親しまれてきた証拠でもあります。

さて、そのようなお地藏さまの中で、六地藏さまの一番注目すべき点は、六体いらっしやるということとです。六という数字は仏教においてとても重要な数字です。仏教では、生前の行いの善し悪し(業)によって、来世に生まれ変わる世界が決まると説かれます。その世界が六つあり、それを「六道」と言います。「地獄」「餓鬼」「畜生」「修羅」「人」「天」の六つの世界です。地獄の世界は説明不要でしょう。餓鬼の世界は、飢え苦しむ世界、畜生の世界は動物の世界です。修羅の世界は、戦いに明け暮れる世界、人の世界は人間の世界、天は神々の世界です。この六つの世界には、悩み、苦しみ、そして煩惱が未だ尽きません。そして、この六道世界から離れることを「解脱」といい、それ即ち、仏さまの世界へ赴くことです。

さて、すでに六体のお地藏さまがいらっしやる理由が分かったのではないのでしょうか。六道の世界から我々を仏さまの世界に導いて下さる為に、六つのお姿をしているのです。つまり、地獄世界の担当、餓鬼世界の担当という具合です。そして、そのお姿はそれぞれが持ち物や手の形(印)が違います。そして各々お名前も付いています。しかしながらこれには諸説あり、一定していないのが実情です。普門寺の六地藏さまを例に挙げると向かって右から、左図の通りです。

| 名称   | 持物 | 六道 |
|------|----|----|
| 禅林地蔵 | 錫杖 | 地獄 |
| 無二地藏 | 宝珠 | 餓鬼 |
| 護讚地藏 | 念珠 | 畜生 |
| 諸龍地藏 | 合掌 | 修羅 |
| 伏勝地藏 | 香炉 | 人  |
| 伏息地藏 | 如意 | 天  |

最後に、入口にいらっしやることが多い理由です。お寺はお仏さまの世界なので六道を離れていると考えます。六道と仏の世界、その境目にいらっしやるのが六地藏さまで、六道から我々を救い、そして道案内をして下さるのです。また、死者の世界との境界にいらっしやる場合もあります。墓地の入口に六地藏さまを建立するのがこれに当たります。死者の世界と言っても、御供養によりお仏様の世界に赴いているので、広義には墓地とはお仏さまの世界と考えることが出来ます。

このような六地藏さまのお力を知った上でゆっくりとお手を合わせて頂けますと、いつもとはまた違ったお顔を垣間見ることが出来ることでしょうか。